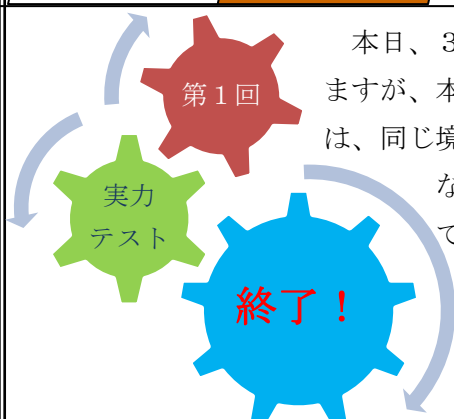


面舵 いっぱい

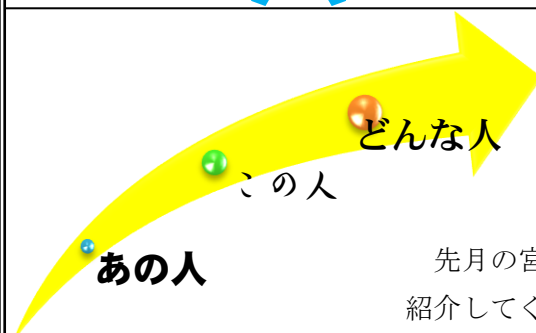
島浦針路通信



平成27年4月6日 初版発刊
島浦中進学・進路関係通信社◎
面舵いっぱい：島浦針路通信
第05号 5月 8日(金)
編集長：新名 潤一



本日、3年生の第1回実力テストが終了しました。何事も【始めが肝心】と言いますが、本当に大事なテストです。GW明けとはいえ、延岡地区の3年生にとっては、同じ境遇です。どれだけの力が発揮できたのでしょうか。一朝一夕では身に付かないことが実感できたのではないのでしょうか。次の実力テストは7月14日、15日です！さあ、今日からまた目標を設定し頑張っていこう！文武両道！



このコーナーでは、本や雑誌、新聞、ネットなどの中から見かけた【人】、をご紹介しますと思います。

さまざまな人の人生をみて、「こうなりたい！」、また「もっとこうすれば！」というヒントにしていいただければ幸いです。

先月の宮崎日日新聞に載っていたものをご紹介します。岡田教頭先生が紹介してくださいました。以下、全文、新聞の引用です。



選抜高校野球大会で優勝した敦賀気比高監督

東 哲平（あずまてっぺい）

■監督として立った通算4度目の甲子園で頂点に。北陸勢では夏を含め初の栄冠を手にし「この瞬間を目指してやってきた。本当に最高の気分です」と喜びをかみしめた。 ■小学2年で野球を始め、兄を追って敦賀気比高の門をたたいた。プロ野球広島東出輝裕選手と同期で、2年夏から3季連続で甲子園出場。3年では4番だったが「練習しなくても打てる」と努力を怠り「自分のことしか考えていなかった」と後悔交じりに話した。 ■社会人の三菱自動車川崎に進んだものの「環境が合わなかった」と2年で退社。その後は建材運搬などのアルバイトもしたが野球への未練を断ち切れず、福井に戻って指導者として再起した。 ■母校のコーチ就任に要請を受けた2008年、中学の硬式チームを指導していた。返事に迷う中、総監督だった元阪神の小林繁氏に「後は俺に任せろ。だから優勝旗を持ってこい」と背中を押され意を決した。しかし小林氏は10年に急逝。「その思いだけには絶対に応えたい」。毎年、命日に墓前で誓った約束をついに果たした。 ■自分を「気付け役」とし、多くを語らない。「感情をコントロールできる選手」を目標に、技術より精神面を重視。選手寮の舎監も務めながら「僕みたいな選手をつくらないように」と我慢と継続の必要性を教え込む。 ■休みは正月の1週間のみで「趣味をやる暇もない」。2歳の娘はスタンドで観戦したいといい「何も分からないだろうけど」と父親の顔もちらり。京都府出身。34歳。（共同）

～ 予 告 ～

第1回定期テスト

5月18日、19日